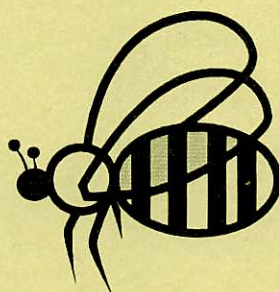


豊中少年少女合唱団

第2回 定期演奏会



2004年3月20日（土） 14時開演

アクア文化ホール

指揮：西岡茂樹

ピアノ：西岡恵子 山岸陽子

リコーダー：白木絵美 野呂朝子

賛助出演：豊中混声合唱団 豊中ユース合唱団 ママス&パパス

後援：豊中市教育委員会 大阪府合唱連盟 大阪北YMCA

日本合唱指揮者協会 JCDA

プログラム

1. ジブリ大好き! . . . 豊少+ユース ピアノ：西岡恵子

“となりのトトロ”より 「となりのトトロ」
“魔女の宅急便”より 「やさしさに包まれたなら」
“猫の恩返し”より 「風になる」

2. 白いうた青いうた . . . ユース

- ・しらかば
- ・ぶどう摘み
- ・なまずのふろや
- ・南海譜

詩：谷川雁 曲：新実徳英
ピアノ：西岡恵子

3. 北越戯譜 抄 . . . 豊少

- ・正月さまのうた
- ・羽根つき
- ・あそびうた
- ・お手玉うた
- ・ふうせんつきうた
- ・まりつきうた

柴田南雄作曲

————— intermission —————

4. 三善晃合唱曲集

- ・豊中少年少女合唱団・団歌 . . . 豊少
- ・小鳥の旅

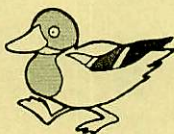
詩：三善晃
ピアノ：西岡恵子

- ・雪 . . . 豊少+ユース+豊混+ママス&パパス
- ・朧月夜
- ・雪の窓辺で

ピアノ：山岸陽子

5. ファーブルさん . . . 豊少

- ・Ⅰ
- ・Ⅱ
- ・Ⅲ
- ・Ⅳ
- ・Ⅴ



詩：長田弘 曲：萩京子

ピアノ：西岡恵子
リコーダー：白木絵美 野呂朝子

ごあいさつ

本日はお忙しい中、豊中少年少女合唱団の第2回定期演奏会にお越しくださり、誠にありがとうございます。

当団は、日本の合唱人口がどんどん先細る中、「子供達に合唱の素晴らしさを伝え、合唱の未来を明るくものにしていこう」という豊中混声合唱団の支援により、2001年2月に設立されました。以来、子供だからこそ、いつまでも人の心に残る《本物の歌》を選びすぐって歌うことにより、私たち自身の心を豊かにし、また聴いてくださる方々ともその感動を分かち合うことを活動の基本に据えて、歌い続けてきました。

おかげさまで、この姿勢に共感してくださる方々のご声援により、少しずつ団員も増え、一年前の第1回定期演奏会の際は19名だった団員も、今は33名までになりました。

そして、今回の第2回定期演奏会では、さらにもう一つの私たちの姿勢をはっきりと打ち出すことができました。それは「委嘱活動」です。

児童合唱の世界に飛び込んで、まず痛感したのは、「音楽的に充実しており」、なおかつ「少人数でも歌え」、さらに「高度な技術力が無くても歌える」曲がとても少ないということです。そこで、日本には素晴らしい作曲家がたくさん活躍しておられるので、その方々に上記のような曲を新しく創ってもらうことにしました。

そして、夢のようなことに、三善晃先生には団歌を、そして萩京子先生には「ファールさん」を創ってもらうことができ、本日、お披露目をさせていただくことになりました。

三善先生については、そもそもこの合唱団が三善先生の曲を歌うことを契機に創設されたという経緯から、いわば合唱団のバックボーンとして、ずっと歌い続けております。恐る恐るお願いした団歌の作詞・作曲も快く引き受けてくださり、ほんとうに私たちにぴったりの団歌ができました。普段の練習において、日常的に歌い続けていきたいと思っております。

萩先生との出会いは、女声合唱アルモニ・レジュイがクラリネット伴奏を委嘱した宮澤賢治の詩による「風がおもてで呼んでゐる」を歌った時からです。こんにゃく座での活動に裏打ちされた、大地にしっかりと根をおろしたような信頼感と「うた」の原点にふれ、子供達はすっかり虜になってしまいました。

「ファールさん」の詩の提案を受けたとき、多少の躊躇はありましたが、萩先生の『ペンには、釣り針についたエサのように、血まみれの、魂のきれはしがついている』ことを信じていましたし、きっと『血の通った言葉でしか書か』れないと思ったので、「是非、この詩で」とお願いしました。

ご多忙により、曲の完成が演奏会間近であったため、十分に練習することができなかったのが心残りですが、ベストを尽くして取り組みましたので、どうか暖かく聴いてやっていただけると幸いです。

最後に、当団は、子供だけで歌うのではなく、大人の「豊混」や高校生の「豊中ユース合唱団」、さらには保護者の「ママス&パパス」とも共に歌う機会があることが一つの特徴となっており、今回も第4ステージでその企画をお聴きいただくことになっております。社会の縮図のようなこのステージもまた、私たちの貴重な財産です。

それでは、未熟な演奏ではございますが、どうぞ最後までごゆっくりとお聴き下さいませ。

豊中少年少女合唱団

指揮者 西岡茂樹

◆プログラムノート



1. シブリ大好き！

「となりのトトロ」の主人公“サツキ”は小学生で“メイ”は4歳、「魔女の宅急便」の主人公“キキ”は中学生の年代、「猫の恩返し」の主人公“ハル”は高校生です。

幼稚園から中学生までいる“豊中少年少女”と高校生の“豊中ユース”が合同で、年代順に3曲を歌います。けれど、何を歌っても、ちびっこが一番、元気だったりして・・・

2. 白いうた青いうた

作曲家の新実徳英氏と詩人の谷川雁氏のコラボレーションにより、多くの愛すべき小品が生まれていますが、今日は、その中から4曲を、豊中ユースの若い爽やかな歌声でお聴きください。

先に音が作られ、それに歌詞をつけるという、通常とは逆の方法で作られた曲ということですが、それでいて音と言葉は美しく寄り添い、そして何よりも音楽がとても自然に流れるところが何とも不思議です。

3. 北越戯譜 抄

新潟県長岡市周辺に伝わる童歌を素材に構成された曲です。童歌は、もとの姿をゆがめることなく五線譜に書きとめられています。その素材を指揮者が自由に組み合わせてシアターピースを演出することができます。たくさんの曲がおさめられていますが、今日は、その中から6曲を選び、実際に遊びをしながら歌います。

昔から伝わっているはずの遊びも、今の子供達には縁が遠いようで、羽根突きがバトミントンになったり、風船つきがバレーボールになったりと大騒ぎでした。公民館主催のお手玉教室にも参加して、“勉強”したのでした。

去年の豊混定期で、柴田南雄作曲の「みなまた」に賛助出演し、シアターピースをちょっぴり体験しましたが、今日は自分たちだけの本格的な舞台。さてさて、どんなハプニングが起こることやら・・・

4. 三善晃合唱曲集

①豊中少年少女合唱団・団歌

団員の彼らの顔を思い浮かべ、戴いた写真や手紙をときどき見ながら書きました。

明るさの典型のようなハッピーな子供像は、いま決して描けず、

彼らにその像をおしつけるのは無責任な大人たちだけだと思いました。

不安や涙を知ったうえで、勇気や笑いを持ってほしい、そんな気持ちで書きました。

無言でいるとき、独りでいるとき、

自分の胸の鼓動だけは「生きていること」を教えてくれる。

それが希望すること、夢を紡ぐことも知っている。

それを、みんなで確かめてほしいと思いました。—みんなで歌い合うことによって。

2003年9月28日 三善 晃

②小鳥の旅

日本には、南から北から、多くの渡り鳥が訪れます。小さな翼を懸命に羽ばたかせて遠く海を越えてやってくる鳥たちに、私たち自身の夢や希望を重ね合わせて歌います。かなり長い歌で、最初は手こずりましたが、一旦、身体に入ると、もう子供達は虜になってしまいます。

③雪 ④朧月夜

「茶摘み」「紅葉」「夕焼小焼」と合わせて「唱歌の四季」という曲集の中に、収められています。この手の編曲の中では、おそらく最高峰のものでしょう。ママス&パパス、豊中ユース、豊中混声と共に、総勢約90名の大合唱でお聴きください。

⑤雪の窓辺で

年末の豊中市合唱祭で、毎年、豊少の子供とママス&パパスが、同じ舞台で共に歌っている曲です。降り積もる雪を眺めながら「今年もいろんなことがいっぱいあったね」と親子が共に歌えるのは、本当に幸せなことです。今日は、豊中ユースと豊中混声にも加わってもらいます。

5. ファーブルさん

『ファーブルさん』について

萩京子



なにかのきっかけでファーブルの心に触れると、人はファーブルを忘れることができなくなります。『ファーブルさん』の詩人、長田弘さんもそのひとりだと思います。かくいう私もそのひとりです。ファーブルは大きな人間ですね。今はもう、あまりいなくなってしまったスケールの大きな人間です。科学者の目と、詩人の心を持っています。粘り強く、誇り高い心を持ったファーブル。小さな虫たちを見つめつづけた人、ファーブルに思いを馳せると、無限の時間を感じます。

長田弘さんの『ファーブルさん』は、口当たりのいい詩ではありません。やさしさと攻撃性を秘めていて、4行ずつお行儀良く並んでいる字の隙間から、「いま」という時代をにらんで、20世紀に反省を促しています。そして「いま」はもう、ファーブルさんから遠く離れた21世紀になってしまいました。

豊中少年少女合唱団のみなさんのために、どんな詩を選んだらいいのだろう、と、歌にするための詩を探しているとき、この『ファーブルさん』が気になり始め、いくらなんでもこの詩は手ごわいと思いながらも、この詩に決めました。

小さなみなさんには、なにを言っているのか、すぐにはわからないところもあるでしょう。でもいつか、なにかのはずみに、ひとつのフレーズが心の中で立ち上がってくるときがあるはずです。「じぶんの人生はじぶんできちんとつかわなければならない」とか、「理解するとは、はげしい共感によって相手にむすびつくこと。」とか、「この地上で、生きる理由と究極の目的を じぶんのうちにしかもたないものなんてない」とか、……ああ、なんて歌いにくいことでしょう！でも、深いことばです。

ファーブルへの思いと、詩への共感から出発しましたが、歌って楽しく、聴いて楽しいものであってほしいと思って作曲しました。小さな虫たちの生きるリズム、そのさまざまな彩りを感じていただければと思います。

◆萩京子（はぎ きょうこ Kyoko Hagi）プロフィール

1956年東京生まれ。1978年、東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。オペラシアターこんにゃく座・音楽監督。おもなオペラ作品、『北守将軍と三人兄弟の医者』『金色夜叉』『ガリバー』『ロはロボットの口』『にこりえ』など。オペラ以外の作品では、合唱曲『飛行機よ』『朝のパン』『きもちのふかみに』『地図にない川』。ピアノのための『12の前奏曲』、宮澤賢治の作品にもとづく合唱劇作品群『よだかの星』『どんぐりと山猫』『注文の多い料理店』など。最新作はひとりかたりオペラ『走れメロス』。古今東西の詩によるソングも多数。その他、前進座『かんがえるカエルくん』、劇団仲間『カモメに飛ぶことを教えた猫』等、劇音楽も多い。

CD『HELP!』『萩京子作品集・よだかの星』『ロはロボットの口』がコジマ録音より、『北守将軍と三人兄弟の医者』が fontec より、リリースされている。



◆アンリ・ファブールの生涯

1823年 (0才)	南フランスの片田舎サン・レオンに生まれる。家は、たいへん貧しい農家だったので、すぐにおじいさん・おばあさんの家にあずけられた。
1833年 (9才)	お父さんは農家をやめて都会に引っ越し、カフェを開業した。けれど何度やっても失敗した。アンリは、聖歌隊で賛美歌を歌いながら、勉強を続けた。
1838年 (14才)	お父さんはカフェをあきらめて田舎に帰っていった。アンリは働いて一人で生活をした。しかし、そんな苦しい中でも、決して勉強はやめなかった。食事を抜いて本を買うこともあった。
1839年 (15才)	アヴィニョンの師範学校に一番で合格。学費を払わないで勉強することができるようになった。
1842年 (18才)	カルパントラの町の小学校の先生になった。教え方が上手だったので、大評判になった。
1844年(20才)	小学校の先生をしていたマリーと結婚した。
1849年 (25才)	コルシカ島の中学校の先生になった。コルシカ島にはめずらしい植物や昆虫がたくさんあった。
1853年 (29才)	アヴィニョンの高校の先生になった。ハチの研究を発表し、立派な賞を受賞したが、あいかわらず一家は貧乏だった。
1868年 (44才)	古い考えの人たちからいやがらせを受け続け、ばかりしくなったので先生をやめて、昆虫の研究に専念することにした。でも貧乏だったので、わかりやすい科学の本を書いて生計をたてた。
1879年 (55才)	セリニャン村に引っ越して、木や草の生い茂った野原の中の一軒家を買ひ、アルマス（荒地）と名付けた。昆虫記・第一巻を出版した。
1885年 (61才)	奥さんのマリーが死亡。2年後に村のジョゼフィーヌ（23才）と再婚、彼女はそれ以降、ファブールの研究を支え続けた。相変わらずの貧乏。
1907年 (83才)	昆虫記・第十巻を出版した。ようやく認められてきて、お金が入り始めたが、貧しい人のために使ってくれと言って村に寄付してしまった。
1912年 (88才)	ジョゼフィーヌが48才の若さで死亡。悲しみのあまり、ファブールも寝たきりになる。大統領がお見舞いに訪れた。
1915年(91才)	ファブール、91年の人生を閉じる。
1914~1918	世界33ヶ国をまきこんだ第一次世界大戦。戦死者2000万人
1939~1945	世界60ヶ国をまきこんだ第二次世界大戦。戦死者2200万人

◆過去一年間の活動

指揮：西岡茂樹

年月日	場所	タイトル	伴奏	主な演奏曲目
2003年 1/19(日)	エトレ豊中 ステップホール	第1回定期演奏会	Pf: 西岡恵子 Pf: 山岸陽子	「いつも何度でも」「風のとおりの道」 「となりのトトロ」「さんぽ」 三善晃「風のとおりのみち」 萩京子「はじめのことば」 「風がおもてで呼んでゐる」より 三善晃「雪の窓辺で」 「木とともに 人とともに」 林光「森は生きている」「十二月の歌」
3/29(土)	アケア文化ホール	Tsugumi 音楽教室 小さな音楽会	Pf: 西岡恵子	北爪道夫「いるか」 三善晃「風のとおりのみち」より 萩京子「はじめのことば」 林光「12月の歌」
4/5～6(日)	春合宿 豊中市立少年自然の家			
6/21(土)	貝塚コスモス シアター 大ホール	第40回 大阪府合唱祭	Pf: 西岡恵子 Pf: 山岸陽子	三善晃「風のとおりのみち」より 「栗の実」「かっぱ」「りすの子」 「仔ぎつねの歌」 三善晃「葉っぱのフレディ」初演・合同
7/5(土)	ザ・シンフォニー ホール	第44回豊混 定期演奏会		柴田南雄「みなまた」
7/12(土)	アケア文化ホール	豊中市合唱のタベ	Pf: 西岡恵子	三善晃「風のとおりのみち」より 「かっぱ」「りすの子」「仔ぎつねの歌」
8/27～28(土)	夏合宿 豊中市立少年自然の家			
10/11(土)	豊中市中央 公民館集会室	公民館祭り	 Pf: 西岡恵子	「もみじ」「村まつり」「赤とんぼ」 「小さい秋みつけた」「さとうきび畑」 柴田南雄「北越戯譜」より 「となりのトトロ」「やさしさに包まれた なら」「風になる」(豊中ユースと共演)
11/2(日)	豊中市民会館 大ホール	第1回 豊中市芸術祭	Pf: 山岸陽子	三善晃「葉っぱのフレディ」 豊中混声合唱団、豊中ユース合唱団
12/6(土)	豊中教会	YMCA クリスマス会	Pf: 西岡恵子 Pf: 野々山恵	「荒野のはてに」「きよしこの夜」 「あわてんぼうのサンタクロース」
12/7(日)	アケア文化ホール	豊中市合唱祭	Pf: 西岡恵子	柴田南雄「北越戯譜」より 「羽根つき」「ふうせんつきうた」 三善晃「雪の窓辺で」保護者と共演
12/20(土)	豊少クリスマス会 愛光幼稚園			

◆豊中少年少女合唱団・団員名簿（五十音順）

浅野紗也賀（小4）

私は1年生の時から、ならい始めました。今回は第2回目の定期えんそう会で、私はとてもはりきっています。なぜかという、1番最後に歌う「ファールさん」は歌の中で1番好きだからです。心をこめて歌うのでどうぞ聞いてください。

浅野真利奈（小3）

わたしは、合唱団に入って4年目です。今度、歌う中で「ファールさん」は大好きだけど、とても難しいです。いっしょうけんめい練習して、もっとじょうずになりたいです。ていきえんそう会をととても楽しみにしています。みなさんもどうぞ楽しんでください。

伊東 克昌（小5）

ぼくの好きなスポーツは「テニス」と「サッカー」です。合唱もまだまだじょうずとは言えませんが、歌っている時はとても楽しいです。先生がやさしいということが練習に行く楽しみの一つです。「ファールさん」では1番と2番が好きです。これからもたくさん練習してもっと上手になりたいと思います。

伊東沙祐里（小6）

この合唱団に入ってまだ一年にもなりません、毎週の練習はとても楽しく通っています。練習会場までは少し遠いのですがいつも自転車に乗って行っています。歌っている時は心の中が「無」になってとても気持ちいいです。

岩田 知佳（小3）

私にとって初めての定期演奏会で、とってもドキドキです。音楽が好きで、特に歌が大好きです。一番好きな歌は「風になる」です。歌詞はおぼえにくいけど、メロディーが好きです。がんばるので最後まで聞いて下さい！！

内賀島 潤（小3）

ぼくは工作が大好きです。そして同じくらい歌も好きです。今回歌う曲の中で、一番楽しみなのは、豊中混声合唱団といっしょに歌う『おぼろ月夜』です。豊混さんといっしょに歌うと、とてもはく

力があって、なの花畑の風景が頭にうかびます。

内賀島仁美（小6）

私は入院していたので、今回は客席での応援です。萩京子さんが作ってくださった「ファールさん」がどんな曲なのかとっても楽しみです。みんながんばれー！

江頭 汰明（小2）

ぼくは、空手と習字と野球が大好きです。合唱は、みんなで声を合わせて歌うと心がうきうきしてくるのでとても楽しいです。ファールさんの歌を一生けん命練習しました。トトロや猫の恩返しも元気に歌いたいです！

江頭 舞（小6）

私の好きなことは、パソコンと手紙を書くことと寝る事（笑）です。私は、ファールさんの4番が好きです。でも5番も好きです。団歌は合唱団にととても合っていると思います。みんなとっても仲良しです。がんばって歌うので、聞いてくださいっ！☆☆☆

大竹沙結梨（小1）

1年の4月から入りました。先生やおねえさんたちは、とてもやさしいです。わたしが、とくにすきなうたは「だんか」と「小とりのたび」です。「ファールさん」もいっしょうけんめいれんしゅうしました。

河中 彩子（小5）

私は、小さいころから合唱団にはいっています。私たち、豊中少年少女合唱団は仲良しです！仲良し度は、一番です！私の一番好きな歌はファールさんです。虫たちの事をとっても大切にしていたファールさんの歌です。

河中 季子（中2）

私は前に所属していた合唱団とあわせて8年間合唱をしています。歌が大好きです！今回の定期演奏会ではファールさん、団歌はもちろん他の曲も皆さんに喜んでいただけるように努力しました。今日はその練習した成果を発揮したいです。

窪野 翔太（小5）

ぼくは、がっしょうをやってまだ早いです。ぼくが好きな歌は、「やさしさに包まれたなら」です。だから知らないことがあればいろいろ教えてください。ぼくは、はじめてのえんそう会なので、うまく発表できたらいいなあと思います。

小林真由美（中3）

私は中3で、もう豊中少年少女合唱団を卒業しますが、最後に『ファールさん』という曲を歌えて嬉しいです。この曲は、歌詞と音が難しいですが、楽器が色々入り、とても良い曲です。みんな一生懸命練習してきたので、楽しみにして聞いてください！

高橋 良寛（小1）

みんなとうたうと、たのしいです。ぼくのすきなうたは、ファールさんのきょくです。ファールさんが、虫をあひしたことがつたわるように、うたいます。

玉田 真由（小2）

わたしが一番好きな歌は、はじめのことばです。一番好きなべん強は、算数です。わたしのしゅみは、本を読むことです。ファールさんの歌を弟も歌っています。（とくに一番）だい2回えんそう会もがんばりたいです。

千熊 啓介（小4）

得意なことは、リコーダーです。合唱団で歌う曲も、家で吹いたりしてます。合唱団は、合宿が楽しかったです。演奏会の前は、練習が増えて大変でした。「ファールさん」の5番が気に入っています。

中井 靖子（中3）

春からいよいよ高校生になります。今回は「ファールさん」を世界で初めて演奏します。練習は大変でしたが、今日聴いてくださるお客様にみんなと自分の「ファールさん」に対する深い思いが伝わったら良いなと思っています。団歌も胸を張ってうたいます。中学校で部活、合唱団とやってきたのでもうやめらないとまらない！おばあちゃんになってもうたいます！！

中井 亮（小3）

ぼくの好きなものは三步あてとドッチボールとやきたらこといくらとたらこスパゲティーと温泉です。えんそう会の歌の中では「小鳥の旅」が好きです。小鳥になった気持ちで歌います。

西岡 彩音（年長）

わたしはうたがすきです。わたしはファールさんがとくいです。すきなうたはゆきとやさしさにつつまれたならとかぜになるとだんかとファールさんと小とりのたびです。やさしいみんなとたのしくうたいます！

西岡 友樹（小4）

合唱を聞きにきてくれてありがとうございます。えんそう会があるまで一生けん命練習をしてがんばりました。特にファールさんという曲は、とてもいい曲なので好きです。まだ上手じゃないけどがんばるので聞いてください。

野々山 綾（小5）

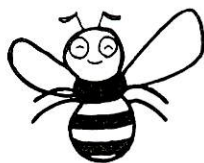
わたしが今までで歌ってきた中で一番好きな歌は、「風になる」です。「ファールさん」はむずかしい曲だけど、がんばって練習しました。とってもいい曲で歌っていて楽しいです。今日は楽しく演奏したいと思います。

畠中 愛莉（小2）

わたしにとって、はじめてのえんそうかいです。がっしょうの中で一番すきな歌が「トトロ」です。ファールさんは、とってもいい歌です。ファールさんをつくってくれてありがとうございます。

濱口 優香（小2）

とても元気な小学2年生です。きょ年の5月に入団して少しでもうまく歌えるようにがんばってきました。定きえんそう会でジブリやファールさんを歌うのが楽しみです。すきなことは、本を読むことです。これからもいっしょうけんめい歌っていきます。



平尾 志帆（小2）

わたしは、歌を歌うことと、バレエが大好きです。ごはんを食べる時や、しゅくだいをする時もいつも歌を歌ってしまいます。合しょう団では、みんなと歌えて楽しいです。二回目の定きえんそう会、がんばります。

堀 詩子（中3）

私は、合唱団のみんなと一緒に歌っているときが一番リラックスできます。今回は、部活や受験勉強などで練習に参加できる日が少なかったのが残念です。高校生になっても歌い続けていきたいです。

牧口こころ（小3）

私は、ピアノと歌うことが好きです。今、好きな歌は、「団歌」と「やさしさにつつまれたなら」です。春と夏の一泊の合宿もみんなと一緒に、とても楽しいです。思い出にのこる演奏会になるようにがんばって歌います。

峯崎 綾（中2）

昨年より一緒にうたえる仲間が増えたので、とても嬉しく思っています。今回特に聴いてほしい曲は「ファールさん」です。この曲を歌っていて考えさせられたこと、学んだことが沢山ありました。難しいところもあったけど、全員で楽しく練習を重ねてきました。その成果を演奏会で表したいと思います。



村田 愛子（小1）

わたしの好きな食べものは、おうどんと、おにくと、たこやきです。にしおか先生は、とってもやさしいです。ファールさんとだんかがいちばん好きです。きょうはいっしょうけんめいうたいます。

村田 咲子（小3）

私のとくいな事は、ヴァイオリンとりょう理です。今日の歌では、ファールさんと小鳥の旅が一番好きです。合唱団の練習はとても楽しいです。本番はきんちょうするかも知れないけど、がんばって歌うので聞いてください。

森 万葉（年長）

わたしわ4がつから1ねんせいになります。1ねんせいががんばります。わたしわうたがだいすきになりました。がっしょうだんもがんばります。おねえちゃんたちやさしいからだいすき。

森 菜月（小2）

四月から三年生になります。わたしは、合唱団とバスケが大好きです。一番好きな歌は「ファールさん」。あと、「風になる」と「やさしさにつつまれたなら」も好きです。大人の人達と歌うとつられそうになるけど気持ちいいです。

矢熊 光（小2）

ドッジボールと大なわが大好きです。学どうほいくのドッジボール大会ではめっちゃめっちゃがんばりました。今日歌う歌の中では「ファールさんV」が一番好きです。歌しのいみを考えながら一生けんめい歌います。



◆豊中ユース合唱団・団員名簿（五十音順）

足立友恵	井関文子	大岩さゆり	小林真由美	志賀有希
中村友理恵	那須麻貴恵	中 美有記	中井靖子	夏川 綾
三好雅子	橋本直子			

◆プロフィール

西岡茂樹：指揮

1955年兵庫県生まれ。高校時代から合唱の世界に魅了され、合唱指揮の研鑽に入る。指揮活動の最大の関心は、「世界に誇ることができる日本固有の合唱芸術の創造」にあり、主として現代日本の作家の意欲的な作品をとりあげ続けている。合唱指揮を田中信昭、須賀敬一の両氏に師事。現在、豊中混声合唱団、豊中ユース合唱団、女声合唱アルモニ・レジュイ、女声合唱団「あい」等で指揮を務める。大阪府合唱連盟理事、日本合唱指揮者協会、奈良産業大学教授。



西岡恵子：ピアノ&トレーナー

中学・高校で合唱を経験し、神戸女学院大学で声楽を専攻。卒業後、ヤマハ音楽教室講師、自宅でピアノ指導などを行うが、合唱が恋しくなり豊中混声合唱団に入団、パートリーダーなどを務める。めざましい成長を続ける子供たちに負けじと、指導や伴奏を勉強中。

山岸陽子：ピアノ

神戸女学院大学音楽学部卒業後、渡独。ケルン音大、フライブルク音大（院）室内学科にてディプロムを得て卒業。故梅田志づ、宇野紀子、山上明美、S.プロティッチ、H.ボーエ、M.バウマンの各氏に師事。現在、女声合唱アルモニ・レジュイの伴奏を務める等、アンサンブル奏者として、室内楽、伴奏の分野で活躍。

白木絵美：リコーダー

相愛大学音楽学部器楽学科古楽器専攻（リコーダー）卒業。同大学の卒業演奏会、音楽・芸術大学卒業生による新人演奏会等に出演。第14回西日本リコーダーコンクール（アンサンブル）において最優秀賞を受賞。リコーダーを小林達夫、若林正史、藤田隆、花岡和生、室内楽・通奏低音を坂本利文、青木好美の各氏に師事。現在関西を中心にソロ奏者として、またアンサンブル等の演奏活動を行っている。リコーダーアンサンブル CECILIA 主宰。

野呂朝子：リコーダー

小学校四年生の時豊中市少年少女合奏団に入団。リコーダーの演奏を始める。卒団後も同合奏団の指導に携わるとともに、アンサンブル“cecilia”を結成し、音楽活動を継続。平成6年には西日本リコーダーコンクールで最優秀賞を受賞。その後もアンサンブルで各地の病院や演奏会などに出演。



◆今後の行事予定



6月13日(日)	大阪府合唱祭 (貝塚コスモスシアター) 大阪府合唱連盟・三善晃氏委嘱「葉っぱのフレディ」再演参加
7月 3日(土)	豊中混声合唱団定期演奏会 賛助出演(ザ・シンフォニーホール) 三善晃 曲 「葉っぱのフレディ」
7月10日(土)	豊中市合唱のタベ (アクア文化ホール)
8月下旬	夏合宿
10月中旬	豊中市公民館祭
12月5日(日)	豊中市合唱祭(アクア文化ホール)
2005年3月頃	第3回定期演奏会予定

♪ ♪ **豊中少年少女合唱団 団員募集中です！** ♪ ♪

小学生から中学生の皆さん、いっしょに歌おうよ！

- 特徴1 私たちの心を豊かにしてくれる“本物”の歌を歌います
 特徴2 豊中混声、豊中ユース、ママス&パパスなど、大人と一緒に歌います
 特徴3 音楽的に充実していて、それでいて歌いやすい曲を委嘱していきます

練習日：毎週土曜日 10時～12時

場所：中央公民館(曾根)、愛光幼稚園(豊中駅前)

連絡先：西岡(0797-88-1890)、河中(06-6858-8715)

E-mail: keiko_nishioka@jttk.zaq.ne.jp

ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/nishioka/toyo/>



♪ ♪ **豊中ユース合唱団 団員募集中です！** ♪ ♪

高校生から大学生の皆さん、いっしょに歌いましょう！

練習日：毎週日曜日 10時～12時

場所：中央公民館(曾根)ほか

連絡先：西岡(0797-88-1890)

E-mail: keiko_nishioka@jttk.zaq.ne.jp

ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/nishioka/youth/>



1
ともだち 歌おうよ
みんなで 肩を揺らして
大きな樹々が

風を呼ぶようにさ
心のなかでも 揺れるよ 樹々が 風と
昨日と明日のあいだで
不安と勇気のあいだで
それを みんなで 歌おうよ
肩を揺らしてさ

2
ともだち 歌おうよ
みんなで 手をつないで
小さな飛沫が

波とあそぶようにさ
心のなかでも つなぐよ 飛沫が 波と
昨日と明日のあいだを
涙と笑いのあいだを
それを みんなで 歌おうよ
手をつないでさ

3
ともだち 歌おうよ
みんなで 胸をひらいて
大事な思いが

夢をつむぐようにさ
心のなかでも ひらくよ 思いが 夢を
明日の明日のむこうまで
希望の光が呼んでいる
それが みんなに 聞こえてる

胸の響きになつてさ
胸の歌声になつてさ

1
窓のそとは 雪がながれてる
ごらんよ
あの雪は 二月のちようちよよ
ひるまの静かなあのへやに
春のくる日をおしえていった
白いちようちよよ

たのしいことや つらいこと
ことしもいっぱい ありました

2
窓のそとは 雪がふっている
ごらんよ
あの雪は 四月のはなびら
うまれたばかりのみどりこの
ミルクのむ目にふりそいでた
白いはなびら

あかるいはなし くらいうた
ことしもいっぱい ききました

3
窓のそとは 雪がふりつもる
ごらんよ
あの雪は 今年のおもいで
今年の空からまいおる
すぎた春秋ひとつひとつの
白いおもいで

わらったことや ないたこと
ことしもいっぱい ありました

ファールさん

長田 弘

I

ファールさんは勲章や肩書をきらった、権威も。ペコペコしたり無理を我慢したりは、真ッ平だった。シルクハットは、逆さまにして、メボウキを植えた。それから、一おもいに、足で踏みつぶした。

なくてはならないものは、自由と、静かな時間と、清潔なリンネルのシャツと、ヒースでつくったパイプ。毎日、青空の下で、おもいきり精神を働かすのだ。じぶんの人生はじぶんできちんとつかねばならない。

黒い大きなフェルトの帽子の下に、しっかりとすわった深く澄みきった目。

ファールさんは、怠けることを知らなかった。

黙って考え、黙って仕事をし、慎ましやかに生きた。

目を開けて、見るだけでよかった。

耳を澄ませて、聴くだけでよかった。

どこにでもない。この世の目ざましい真実は、いつでも目のまえの、ありふれた光景のなかにある。

II

目立たない虫、目には見えないような虫、とるにたらない虫、つまらない虫、みにくい虫、いやしい虫、くだらない虫。ファールさんは、小さな虫たちを愛した。

生きるように生きる小さな虫たちを愛した。虫たちは、精一杯、いま、ここを生きて、力をつくして、じぶんの務めをなしとげる。じぶんでない生きかたなんかけっしてしない。

みずからすることをする、ただそれだけだ。生命というのは、すべて完全無欠だ、クソムシだろうと、人間だろうと。

世の中に無意味なものは、何一つない。

偉大とされるものが、偉大なのではない。美しいとされるものが、美しいのではない。最小ノモノニモ、最大ノ驚異アリ。ファールさんは、小さな虫たちを愛した。

III

どんな王宮だって、とファールさんはいった。優美さにおいて精妙さにおいて、一匹のカタツムリの殻に、建築として到底およばない。この世のほんとうの巨匠は、人間じゃない。

この地球の上で、とファールさんはいった。人間はまだ、しわくちやの下書きにすぎない。われわれ貧しい人間にさずつたものうちで、いちばん人間らしいものとは、何だろうか。

「なぜ」という問い、とファールさんはいった。ものの不思議をたずね、辛抱づよく考えぬくこと。探究は、たくましい頭を必要とする労働だ。耳で考え、目で考え、足で考え、手で考えるのだ。

理解するとは、とファールさんはいった。
はげしい共感によって相手にむすびつくこと。
自然という汲めどつきせぬ一冊の本を読むには、
まず身がかめなければいけない。

IV

狭いほうからしか世界を見ない人たちの、
とげとげしいまるで人を罵るような言葉。
呪文のような用語や七むつかしい言いまわし。
ファールさんは、お高い言葉には背をむけた。

言葉は、きめの細かな、単純な言葉がいい。
古い方言や諺や日用品のようによくなじんだ言葉。
すっきり筋のおつたものの言いあらわしかた。
言いたいことを、目に見えるように書くのだ。

いつもクルミの木のちいさな粗末な机で書いた。
「ペンには、釣り針についたエサのように、
血まみれの、魂のきれはしがついている」
いつも血の通った言葉でしか書かなかった。

仕事に疲れた夜は、ベッドで、好きな本を読んだ。
つねに素晴らしい楽しみだったウェルギリウス。
ラブレは変わらぬ友人だった。ミシュレも。
純真なラ・フォンテーヌの一の弟子だった。

V

花々のあいだ、青葉のなか、暗い木の枝。
石ころだらけの狭い山道、日に照らされた荒地。
高い草、深い沈黙につつまれた野っ原。
虫の羽音がさかんに暖かな空気を震わせている。

何一つ、孤立したものはない。

この地上で、生きる理由と究極の目的を
じぶんのうちにしかもたないものなんてない。
ものみな、無限のかかわりを生きているのだ。

有頂天のトカゲ、セミのジージー鳴く声、
飛ぶクモ、コウロギの悲しげな声、笑う北風。
ファールさんが語ったのは、新聞の
朝刊がけつして語らないような世界の言葉だ。

死がきて、ファールさんのたくましい頭から
最後に、黒いおおきなフェルトの帽子をとった。
そして、二十世紀の戦争の時代がのこった、
ファールさんの穏やかな死のあとに。

小鳥の旅

勝承夫

1

はるかな島から 海をこえて
はるかな国から 山をこえて
小鳥の群は わたって来るよ
夜空に高く 星をつたい
楽しく森に 林にいこい
小鳥の旅は 幾日幾月

わたり鳥 わたり鳥
わたしも夢を 見る小鳥
あの空こえて あの雲こえて
はてなくひろがる 夢のつばさ

はるかな島へと 海をこえて
はるかな国へと 山をこえて
小鳥の群は わたっていくよ
海辺の町の 軒にわかれ
谷間の枝に ねぐらをのこし
小鳥の旅は 幾日幾月

ああ 楽しくわたるよ

2

南の島から 海をこえて
雪ふる国から 山をこえて
小鳥の群は わたって来るよ
やさしい春の花を慕たい
もみじの秋の 木の実をたずね
小鳥の旅は 幾日幾月

わたり鳥 わたり鳥
わたしも歌の 好きな鳥
希望をこめて よろこびこめて
なかよくさえずる 歌のつばさ

南の島へと 海をこえて
雪ふる国へと 山をこえて
小鳥の群は わたっていくよ
思い出多く 胸に秘めて
また来る日まで さよなら告げて
小鳥の旅は 幾日幾月

ああ 楽しくわたるよ